

ICCAE 2000年度オープンセミナー開催

本センターは、客員教授及び外部招聘講師によるオープンセミナーを随時開催している。本年度は、7回のセミナーを開催した。それぞれ多くの聴衆を集め、活発な討論がなされた事は、本センタースタッフの喜びとするところである。

■ 第1回 [6月22日]

「中国農業の現状と次期への課題」

陳 吉 元 (客員教授、中国社会科学院農村発展研究所)

「国際協力銀行のODA中期戦略と農業協力」

広 田 政 一 (客員教授、国際協力銀行)

■ 第2回 [7月25日]

「中国における農業支援システムの構造と機能」

陳 吉 元 (客員教授、中国社会科学院農村発展研究所)

■ 第3回 [10月6日]

「貧困緩和と農村資源再生における

松 澤 猛 男 (国際協力銀行)

グラミン・バンクの役割」

Dr. Md. A. Hossain (国連地域開発センター)

■ 第4回 [10月25日]

「環境再生におけるグラウンドワークの役割」

Dr. B. M. Koroma (国連地域開発センター)

「カンボジアにおける農業教育カリキュラムの改善」

Mr. V. Touch (客員教授、カンボジア王立農業大学学長補佐)

■ 第5回 [12月20日]

「高等教育における地域的・国際的協力」

Dr. E. Cedicol (客員教授、SEARCA)

■ 第6回 [1月25日]

「持続的農業という概念をカリキュラムにどのように含めるか」

Dr. R. Villareal (SEARCA)

Dr. E. Cedicol (客員教授、SEARCA)

■ 第7回 [2月14日]

「中国農村部における貧困問題」

李 小 云 (中国農業大学農村開発学部長)



第7回オープンセミナーにて 李教授

東南アジア文部大臣機構農業高等教育 研究地域センター (SEARCA) と ICCAEの連携

SEARCA 大学院教育・ネットワーク開発部部长
エディサ セディコール

私は、2000年11月1日から2001年1月31日まで3ヶ月間、客員教授(Ⅲ種)としてICCAEのスタッフと共同研究を行う機会を頂きました。この期間中、私はICCAEの日本国内および国外における農学教育に関する国際協力を推進するためのネットワーク構築および組織能力の開発を支援するとともに、ICCAEとSEARCAの連携を強化するための様々な活動を行いました。また、1983年に名古屋大学とSEARCAとの間で結ばれた学術交換協定を実質的に運用するよう、名古屋大学側関係者と話し合いました。これらは、ICCAEとSEARCAの連携を現実のものとする最初の具体的活動でした。それ以外にも、私はICCAEスタッフのためのチームワーク構築訓練を実施したり、ICCAEの戦略的計画と5ヶ年

開発計画の草稿作成を支援したりしました。また、私は、ICCAEオープンセミナーで2回講演を行いました(上記オープンセミナー参照)。

3ヶ月間の

日本滞在によって、私は日本の人々と一緒に働くという素晴らしい経験だけでなく日本の文化と伝統についての眼識を得ることが出来ました。また、今回の滞在はネットワーク構築に関する私の経験を深める機会にもなりました。私は、この機会を与え、忘れられない思い出をくださったICCAEセンター長竹谷裕之教授をはじめとするスタッフ各位に感謝いたします。私は、ICCAEがその全ての努力において成功することを確信しています。



第6回オープンセミナーにて
左: Dr. Villareal (SEARCA所長) 右: Dr. Cedicol

略歴 1956年生れ。1977年サンホゼ・レコレトス大学文学部卒業。同大学教養学部講師、ピサヤ州立農業大学文学部講師、同大学学長私設秘書、総理府公文書記録管理部情報編集担当等を経てSEARCAに入所。現在は同センターの大学院教育・ネットワーク開発部部长を務める。この間セントロ・エスコラ大学(フィリピン)から博士号(1996年)を授与されている。学術交換プログラム、奨学金行政、ネットワークの構築および運営について経験が豊富である。